

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「魔王ヘジヨブチェンジ」

テーマ：「村娘だったのに、今は魔王な美少女」

キャラクター

45

ストーリー

40

テーマ(設定)

50

文章力

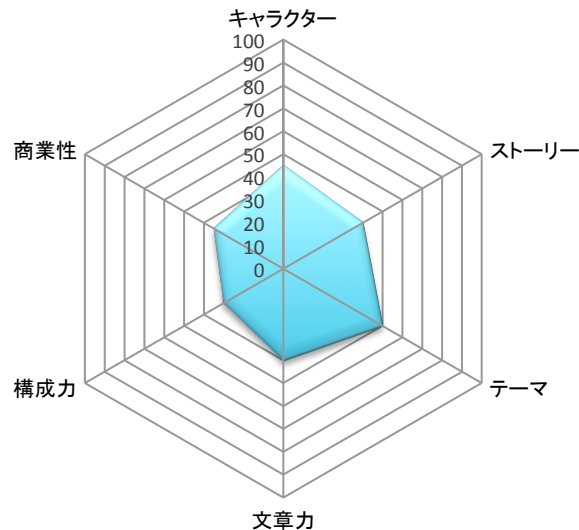
40

構成力

30

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・設定の濃度が短編向けというよりかなり長編向け。50枚という制限の中で生かしきれていない設定が多いため、「絞る」という作業が必要になってくると思われる。個人的にはクーデターに焦点をあてていけばより面白さが明確になったのではないかと感じる。(たまたし長編であったとしても、「この作品の最大の魅力はこれ!」というものを一つに絞った方が作品は面白くなりやすいため、今後作品を書く際には是非この「まずストーリーを一点に絞る」という点を意識することが良いと感じる)

・ですorまず調は、特にこれといって狙いが無いのであれば、一般的な小説のように「だ」「である」等の語尾に変えた方が良いと思われる。どうしても絵本的な幼稚さを感じさせてしまうため。ただ、もしかしたらライトノベルではなくライトノベル風な絵本として出版されれば、次世代絵本としてヒットするかもしれない(ような気がしなくもない)ので、試みとしては非常に面白いと感じた。

合計加点ポイント 0

総得点: 240 / 600

B方式総合得点: 9600 点